

第63期 報告書

2023年3月1日 ▶ 2024年2月29日



株式会社 **イヌ三**



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期は、新型コロナウイルス感染症の「5類」移行により、社会・経済活動の正常化が進み、対面型サービス消費やオケーション需要への本格的な回復がみられる一方、生活必需品の値上げや実質賃金のマイナス継続などの影響から、小売業界の動向は依然として見通しにくい状況が続いています。

このような状況の下、急激な環境変化に対し、最適な対応を実施するため、第二次中期経営計画をアップデートしました。出店計画を絞り込み、既存店活性化投資とM&A・アライアンスによる新たな事業領域の拡大へと振り向ける投資アロケーションの変更を行いました。

2023年5月には、株式会社マルヨシセンターとの資本業務提携契約に基づき、四国地域における商品仕入や物流及びシステム統合の実施を決定。今後、四国地域における業務プロセスの効率化、コスト削減を実現していきます。

また、2024年1月には、株式会社サンライフの株式を100%取得し、子会社化することを決定しました。これにより、既存店舗網の空白地帯である大分市内において市場占有率の向上とのエリア戦略の前進に寄与するものと考えています。

なお、2024年4月、当社連結子会社である株式会社ゆめマート熊本は、株式会社西友の九州事業を承継することとし、吸収分割契約を締結しました。承継後は、福岡市を中心とした福岡県にて強固なドミナント形成を見込んでいます。

主力の小売事業においては、お客さま個々の消費行動の変化に即対応した品揃えとサービス提供に大きく舵を切って事業を推進しました。一方、電気料金、食料品・日用品を中心とした値上げに対し、高付加価値の商品・サービス提供に努めるとともに、値

ごろ感を重視した品揃えを強化することで、二極分化する消費嗜好に対応してきました。

商品面では、自社製造ブランド「zehi(ぜひ)」において、幅広いライフスタイルのお客さまに対応できるようシリーズ展開を拡充し、食分野の充実を図りました。

なお、2024年2月に衣食住分野の商品開発・調達を行うニチリウグループ(大阪市福島区)へ加盟しました。これにより、多様化する顧客ニーズへの対応力を高めていきます。

店舗面では、2023年7月に大型商業施設「ゆめタウン飯塚」をオープンしました。また、6月には「ゆめテラス祇園」※、12月には「ユアーズ東本浦店」を建て替えオープンしました。

一方、既存店では、4月に「ゆめタウン行橋」において、株式会社アダストリアと協業しフランチャイズ第1号店「studio CLIP ゆめタウン行橋店」を開業。11月には「LECT」を全館リニューアルし、株式会社ハンズとのフランチャイズ2号店で、生活雑貨等を幅広く展開する「プラグスマーケット」、中四国地方初出店となる次世代型テーマパーク「リトルプラネット」等をオープンし、子育てファミリー世帯やMZ世代向けの商品・サービスをより一層充実させました。

2024年2月15日に発生したランサムウェア被害につきましては、当期業績に及ぼす影響は軽微ではありましたが、決算発表を延期し、株主の皆さまをはじめ関係各位の皆さまにご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。これを機に「創造的復興」をテーマとして全社的に業務プロセスを見直し、より高い生産性を追求する体制を整えていることをご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

※6月に2階食品館を先行オープン、11月にグランドオープン

進化し、深化する「youme」を。
地域になくなくてはならない存在。私たちは「地域一番店」を目指します。



連結財務ハイライト

営業収益

4,711 億円	前期比
	102.4%

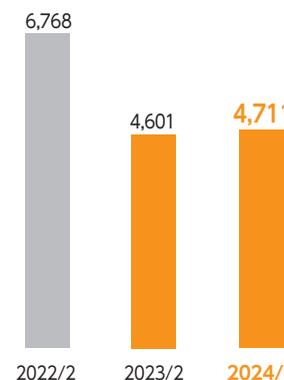
経常利益

323.2 億円	前期比
	94.0%

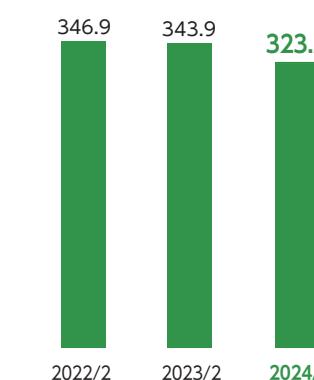
親会社株主に帰属する当期純利益

204.8 億円	前期比
	88.3%

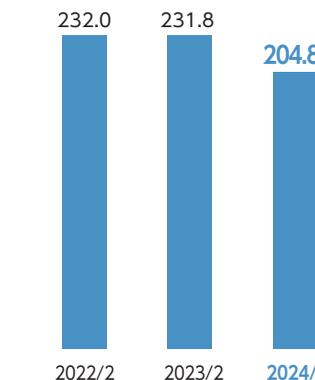
(単位：億円)



(単位：億円)



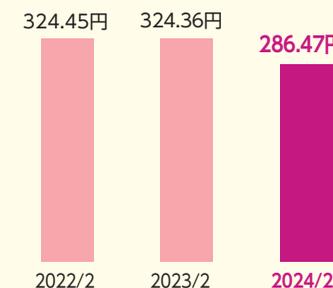
(単位：億円)



(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2021年3月31日)等を2023年2月期の期首から適用しています。

※2025年2月期の連結業績予想につきましては、現時点では業績に影響を与える未確定要素が多数存在することから、業績予想を適正かつ合理的に算定することが困難と判断し、未公表としています。

1株当たり当期純利益



1株当たり配当金

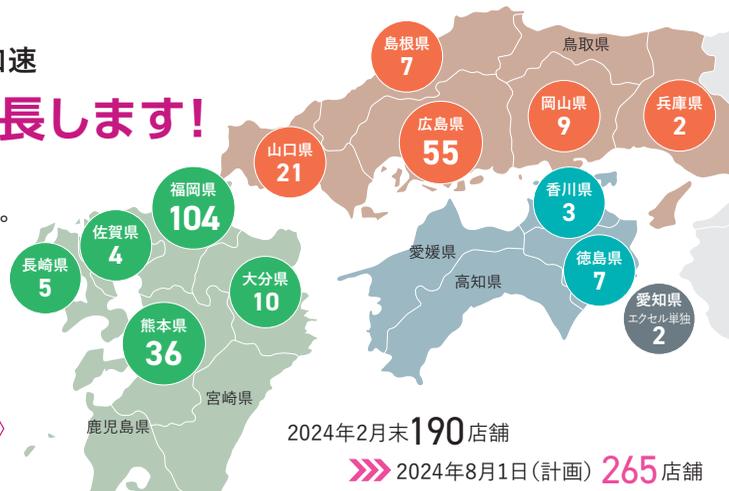
1株当たり配当金を以下のとおり増配とさせていただきます。



M&Aを活用し、中四国・九州の店舗拡充を加速

イズミグループが力強く成長します！

イズミグループは、さらなる成長を続けていくため、今後、M&Aによる店舗網の拡充にも力を入れていきます。2024年、(株)西友九州事業と(株)サンライフがグループに加わり、それぞれの強みを活かし、相乗効果を発揮しながら成長していきます。



2030年長期ビジョン

中四国・九州エリアを軸に300店舗体制の実現、you meあふれる地域との共創に挑戦する。

九州地域でのドミナント戦略をさらに加速

8月1日、西友より九州地域の69店舗を承継

(株)西友は、全国で「西友」「サニー」の店舗を展開しており、生鮮食品の調達力や魅力的なPB商品で高い支持を得ています。このたび九州地域で展開している69店舗を、西友から(株)ゆめマート熊本が承継することになりました。地域で愛され定着している「サニー」の屋号はそのまま継続し、西友の効率的なオペレーションを学びながら、九州地域でのさらなる成長を実現していきます。

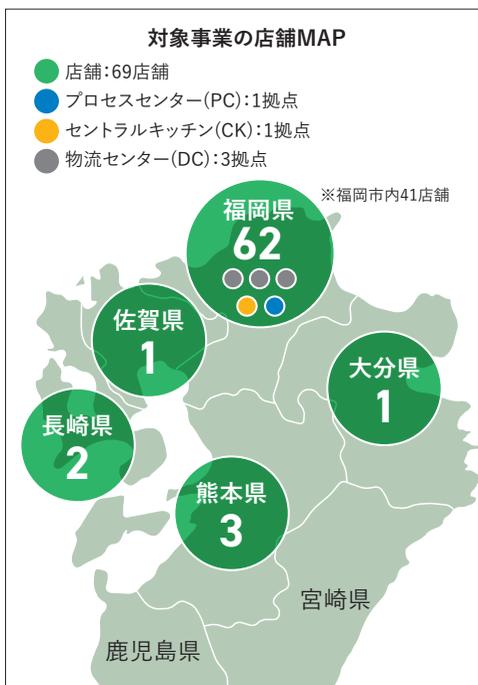
福岡県で店舗が大幅に増加

「サニー」は九州地域で多数店舗展開されているブランドで、中でも九州最大のマーケットである福岡県内で62店舗を運営。お客さまからの知名度も高く、地域との連携も緊密です。駅前など好立地店舗も多く、イズミグループ既存店とも地理的に重複していないため、店舗網が拡大するだけでなく配送効率向上などの効果も期待できます。



サニー 福岡桜原店(福岡県)

2024年4月3日 吸収分割契約を締結
2024年8月1日 効力発生日(予定)



大分県内のパートナーとして株式を100%取得

大分県の「サンライフ」4店舗がイズミグループに

2024年1月 9日 株式譲渡契約を締結
2024年5月20日 子会社化

(株)サンライフは、大分県内で地域密着型の食品スーパー4店舗を運営していますが、いずれもイズミグループの店舗空白地帯にあります。グループ化により、大分県内での食品シェア拡大が期待されるだけでなく、イズミの大型店「ゆめタウン」と相互に補完すれば、販促や物流の効率化などのシナジー効果が見込まれます。さらに「お客さまと地域を大切にする」という姿勢はイズミと共通しているため親和性が高く、今後パートナーとして共に事業運営を進めていきます。



品揃えや品質・鮮度など、地域密着型の食品スーパーとしての「売場づくり」が特長

サンライフの「売場づくり」はとても魅力的で、バイヤーが毎朝市場で仕入れる鮮魚や自社製造の惣菜などの看板商品も多数あります。これらの特長を活かしながら、それぞれの店舗でさらにお客さまを増やしていきます。



サンライフトマト店



煮しめは九州ならではの甘めの味付け

四国地域で食品スーパー 35店舗とレストラン1店舗を運営

6月1日より「マルヨシセンター」と仕入・物流・システムを統合

(株)マルヨシセンターは「健康とおいしさ」の経営理念のもとに、四国地域で食品スーパーとレストランを運営されています。6月1日より、マルヨシセンターとイズミグループの仕入、物流、およびシステムを統合し、業務プロセスの効率化とコスト削減をはかることになりました。また、統合により迅速かつ正確な物流・配送体制を確立し、お客さまへのサービス品質も向上させてまいります。



マルヨシセンター西条店(愛媛県)

中四国・九州エリアを軸に300店舗体制の実現、 you meあふれる地域との共創に挑戦する。

イズミグループは、2030年長期ビジョンとして「中四国・九州エリアを軸に300店舗体制の実現」を掲げ、各地域の活性化を牽引する「街の核」づくりを進めています。ここでは九州や中国地域で進める最新の店舗情報をご紹介します。



ゆめマート新大村

長崎県大村市

2024年4月25日
オープン!

毎日の暮らしを支え、新たな「食」の価値を提案!

4月25日、ゆめマート新大村がオープンしました。長崎県大村市は、長崎県のほぼ中央に位置し、緑豊かな山と穏やかな大村湾に囲まれ、空港や高速道路のアクセスにも恵まれています。住環境にも優れ人口も増加して発展している大村市に、マンションと商業施設などが複合した「SAKURA MIRAI SHIN ÔMURA」の核テナントとして、「無印良品」「スターバックスコーヒー」などと協力しながら、日々の暮らしを支え、地域に密着したサービスを展開します。



店舗概要

・敷地面積/約7,570㎡・延床面積/約3,280㎡
・店舗面積/約2,190㎡・駐車台数/約110台

店舗のキーワードは 「まいにち、おいしい。まいにち、うれしい。」

新鮮な生鮮食品やバラエティ豊かな惣菜、普段の生活に欠かせない日用品を多彩に品揃えし、地域とのつながりを大切にする交流拠点として“毎日通う楽しみ”を提供します。

また、皿うどんやちゃんぽん、地元の人気サンドイッチ店の商品も充実させて、地域グルメを満喫できることも魅力のひとつとなっています。



テープカットに大村市の園田市長が参列



地元の人気店「FLAFF」のサンドイッチ

ゆめモール合志

熊本県合志市

2024年5月23日
グランドオープン!

環境にやさしく、便利で快適、健康な暮らしを提供!

5月23日、ゆめモール合志がグランドオープンしました。熊本市のベッドタウン合志市は、高速道路や空港へのアクセスも良く、新たに半導体工場の建設も予定されるなど、今後も成長が期待できる都市です。



店舗概要

・敷地面積/約24,900㎡・延床面積/約6,700㎡
・店舗面積/約5,400㎡・駐車台数/約330台

利便性の高いショートタイムショッピングを 実現する地域の生活拠点

熊本県初の「ゆめモール」となる当施設は、広大な平面駐車場を囲むオープンモール型のショッピングセンターで、当社グループの(株)ゆめマート熊本が運営する食品スーパー「ゆめマート合志」を中心に、アパレルショップやドラッグストア、飲食店など多彩な専門店が一か所に集約しています。

「通う場所」「出会う場所」「憩う場所」をキーワードに、地域の生活拠点として、環境にやさしく、便利で快適、健康な暮らしを提供しています。



スイカやメロンも地産地消



行列店の「ファッションセンターしまむら」

ゆめモール五日市

広島市佐伯区

2024年9月12日
先行オープン予定!

段階的な建て替え工事を経て、広島県内で2店舗目のゆめモール

広島市佐伯区で運営していた「ゆめタウン五日市」が、店舗老朽化に伴い、この秋新たに「ゆめモール五日市」として生まれ変わります。

食品スーパー「ゆめマート」を中心にアパレル、レストラン、生活雑貨など、17の店舗からなるオープンモール形成の商業施設となり、「通う」「出会う」「憩う」をコンセプトに、新たなライフスタイルを提案していきます。



店舗概要

・敷地面積/約18,100㎡・延床面積/約6,900㎡
・店舗面積/約5,500㎡・駐車台数/約170台

※画像はイメージです

★ 中四国物流研究会が発足

物流の2024年問題解決に向けての取り組みとして、流通事業者のイズミ、(株)フジ、(株)ハローズの3社が中心となり個社での課題解決が困難な案件に対して、連携して解決を図る「中四国物流研究会」が、4月25日に発足しました。これは企業の垣根を越え、トラックの賛同企業と連携した共同運用などを計画しており、今後は協業により、配送の効率化を進め、ムリ・ムラ・ムダの解決を図り、持続可能な納品物流体制を構築していきます。

左から(株)ハローズ 佐藤副社長、(株)フジ 山口社長、イズミ 三家本副社長



★ 光の森駅前に歩道橋完成

1月30日、熊本県にあるJR光の森駅北口と「ゆめタウン光の森」の立体駐車場3階をつなぐ全長約57.5m(階段を含む)の屋根付きの歩道橋が開通し完成式が行われました。駅前の交差点は交通量が多く、小学生の通学路になっているほか、ゆめタウン光の森のお客さまもよく利用する場所です。歩道橋の設置により、歩行者が信号機のない横断歩道を渡らずに通行できるようになり、渋滞の緩和と交通事故を防止する効果が期待されています。

菊陽町 吉本孝寿町長(左から3人目)、イズミGMS本部の溝口本部長らが参列(右から2番目)



復旧から「創造的復興」へ

2月に発生したランサムウェア感染被害において、当期業績への影響ならびに決算発表の延期など、株主の皆さまをはじめ、関係者の皆さまには、多大なるご不便、ご迷惑をおかけしましたことを、心より深くお詫び申し上げます。

事業継続と復旧にイズミグループ一丸で取り組み、2カ月以上を経て5月に復旧し、通常業務に戻ることができました。

今後はセキュリティ強化のための「情報セキュリティ企画」部門を新設し、強固なセキュリティ体制の構築による再発防止と業務プロセスの改善を行うとともに、研修などを通じて社員のITリテラシー向上に取り組めます。さらに、仕事の進め方を劇的に変えることで、「創造的復興」を成し遂げ、お客さまに今まで以上のサービスをご提供します。

今後のDX政策

- 1 情報セキュリティの強化
- 2 業務プロセス見直しによる生産性改革
進化した情報技術(ICT)を適応
- 3 事業拡大貢献とこれからの新しいテクノロジーも活用

イズミが取り組むサステナビリティ — お客さま、地域、テナントさま、社員とともに —

希望あふれる「持続可能な未来」の実現に向けて、イズミはさまざまな活動を行っています。

■ 高校生のSDGs学習を支援

10月28日、広島大学東広島キャンパスにおいて、高校生がサステナビリティの知見を深める「第4回SB Student Ambassador 中国ブロック大会」が開催されました。

イズミはサステナビリティに取り組む企業として、自社の活動について講演し、高校生と持続可能な社会の実現に向けてSDGsを活用し、何ができるのかディスカッションを行いました。



■ 広島大学でイズミのカーボンニュートラルについて講義

1月24日、広島大学スマートシティ共創コンソーシアム参画企業として、広島大学の教養教育科目の授業内で学生を対象に、「カーボンニュートラルを推進するビジネス」と題し講義を行いました。店舗施設での省エネ・創エネの工夫や、消費者と密接に関わる小売業として、お客さまに参画してもらい取り組みを紹介。ゆめタウン・ゆめマートの活動を身近に感じていただきました。



■ 「フードロス削減ポスター」デザインを募集

10月の食品ロス削減月間に合わせ、「てまえどり」をテーマにした「第3回フードロス削減ポスター」のデザイン募集を行い、多くの方にご応募いただきました。最優秀賞に選ばれた作品は、2024年度の啓発ポスターとして各店に掲示しています。イズミでは、このようなお客さまが参加できる企画を通して、食品ロス削減について啓発するとともに、事業者として、発注精度の向上や売り切る工夫など、食品ロス削減を進めています。



フードロス削減ポスター最優秀賞 (丸亀店) 佐久田 帆乃風さんの作品

■ ゆめmart新大村の従業員がSDGsを学び、体験!!

1月30日、ゆめmart新大村の従業員がSDGs研修を実施。午前中はカードゲームを通して、SDGsの概要とイズミの取り組みを学び、午後は海ごみゼロを目指して活動する「一般社団法人海と日本プロジェクトinながさき」の方々と大村バスターミナル周辺の清掃活動を行いました。大村市の園田市長にもゲストとしてお越しいただき、地元大村湾の海の環境を知り、SDGs自分ゴト化を図るきっかけを創出しました。



■ ゆめタウン・ゆめmart惣菜工場で食育を実施

2月23日、ゆめデリカ深川工場で開催された「ゆめタウン・ゆめmart惣菜工場Let's食育」に多くの応募者の中から選ばれた小学生の親子が参加し、「食」について学びました。工場見学やオリジナル弁当作り体験などを通じて「安全・安心」な食の提供のための工夫を紹介。参加した小学生からも積極的な発言があり、楽しい学びの時間となりました。今後もさまざまな体験の機会を創出し、子どもの笑顔あふれる未来を応援します。



ともに「youme」を育てるイズミグループ

株式会社 イズミテクノ

『ユーハイム似島歓迎交流センター』リニューアルオープン



baumクーヘンづくり体験

イズミテクノが指定管理者を務める『ユーハイム似島歓迎交流センター』が2024年4月1日にリニューアルオープンしました。これまで子どもたちのための社会教育施設でしたが、教育施設としての機能はそのままに企業研修や一般のグループなどにも利用できるようになりました。活動プログラムの一環として日本のbaumクーヘン発祥の地ということでbaumクーヘンづくりを実施しています。コテージも新設され自然豊かな環境を楽しめる施設となっていますので、ぜひユーハイム似島歓迎交流センターをご利用ください。

株式会社 ゆめマート北九州

ゆめマート永犬丸 ペットボトル自動回収機運用開始

ゆめマート永犬丸では当社初の自動回収機の運用を開始しました。使用済みペットボトルを回収して新たなペットボトルに生まれ変わらせる「ボトルtoボトル」の水平リサイクルとしての取り組みです。設置以来お客さまに大変好評をいただき、「買い物ついでにペットボトルリサイクルができて、ゆめカード値引き積立額への還元もあるので便利です」とお声をいただいています。ゆめマート北九州ではサステナブルな未来を目指して24年度以降も計画的に設置を行っていきます。



ペットボトル・アルミ缶回収機

イズミグループは、小売事業を中核とし、無駄のないスリムなグループ構造を維持すると同時に、その他関連事業とのシナジー効果を追求していきます。各グループ企業が、それぞれの特性を活かしつつ、積極的に事業展開することで、お客さまに新たな驚きと感動をお届けいたします。

株式会社 ユアーズ

ユアーズ本浦店が新しく生まれ変わりました



ユアーズ本浦店は、2023年12月の移転を機に「ユアーズ東本浦店」としてユアーズ初となるマンション併設型店舗として新しく生まれ変わりました。旧店に比べ売場面積が拡大したことで、買い回りしやすい通路の確保や、セルフレジの新規導入など、快適なお買い物ができる店舗となりました。また、新たな取り組みとして「ペットボトル回収機」の設置や、「機械警備」の導入など、店舗運営の効率化やサステナブル活動にも力を入れています。ユアーズ東本浦店は今後ユアーズが目指す300坪スタイルのモデル店舗として「競争力」と「ローコスト」を両立し信頼される地域一番店を目指していきます。

イズミ・フード・サービス 株式会社

ミスタードーナツ・サーティワンアイスクリーム 次世代型店舗へぞくぞく改装中

イズミ・フード・サービスでは店舗のリニューアルをミスタードーナツ3店舗(安古市・うきは・宇部)、サーティワンアイスクリーム3店舗(ゆめシティ、山口、筑紫野)で実施しました。

ミスタードーナツではセミセルフレジを導入し、ショーケースに扉を設置。サーティワンアイスクリームでは連結サインージを導入し一部店舗では「ライブカメラ」を設置してお客さまにすくう様子を見てもらえるなど好評をいただいています。これからもお客さまへ喜んでいただけるお店づくりに取り組んでいきます。



ゆめシティ



ゆめマートうきは

2024年2月期 [連結] 決算概況

■ 連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科 目	前期末 2023.2.28	当期末 2024.2.29
(資産の部)		
流動資産	100,067	104,153
固定資産	378,474	385,356
有形固定資産	328,209	334,444
無形固定資産	11,831	10,939
投資その他の資産	38,433	39,972
資産合計	478,541	489,509 1
(負債の部)		
流動負債	107,064	116,074
固定負債	93,372	79,202
負債合計	200,437	195,276 2
(純資産の部)		
株主資本	263,329	277,594
資本金	19,613	19,613
資本剰余金	22,753	22,753
利益剰余金	221,682	235,852
自己株式	△ 720	△ 625
その他の包括利益累計額	1,706	2,960
非支配株主持分	13,068	13,678
純資産合計	278,104	294,233 3
負債純資産合計	478,541	489,509

1 総資産

4,895億円 [前期末比109億円増加]

- ・当期の設備投資額は26,293百万円であり、これは主に店舗新設に係る投資、既存店舗の活性化及びDX投資等によるものです。有形固定資産は、減価償却実施後で6,234百万円増加しました。
- ・受取手形、売掛金及び契約資産は、クレジット取扱高の増加等により4,509百万円増加しました。

2 負債

1,952億円 [前期末比51億円減少]

- ・短期借入金及び長期借入金は、1,179百万円増加しました。
- ・その他流動負債は、預り金の減少等により5,186百万円減少しました。
- ・未払金は、店舗新設に係る設備未払金の決済等により1,023百万円減少しました。

3 純資産

2,942億円 [前期末比161億円増加]

- ・利益剰余金は、内部留保の上積みにより14,170百万円増加しました。
- ・これらの結果、自己資本比率は57.3%となり、前期末の55.4%に比べて1.9ポイント上昇しました。

■ 連結損益計算書

(単位: 百万円)

科 目	前期 2023.3.1~ 2023.2.28	当期 2023.3.1~ 2024.2.29
営業収益	460,140	471,166 4
売上高	406,857	415,633
売上総利益	136,245	139,831
営業収入	53,282	55,532
営業総利益	189,528	195,363
販売費及び一般管理費	155,883	163,938
営業利益	33,644	31,425
経常利益	34,396	32,322 5
税金等調整前当期純利益	34,265	29,488
法人税等合計	10,843	8,857
当期純利益	23,421	20,630
非支配株主に帰属する当期純利益	232	144
親会社株主に帰属する当期純利益	23,188	20,485 6

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科 目	前期 2023.3.1~ 2023.2.28	当期 2023.3.1~ 2024.2.29
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,313	31,563
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,045	△24,747
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,557	△ 5,149
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,289	1,666
現金及び現金同等物の期首残高	11,621	10,331
現金及び現金同等物の期末残高	10,331	11,997

4 営業収益 **4,711億円** [前期比 102.4%]

- ・営業収益は前期比11,026百万円(2.4%)増加し、471,166百万円となりました。これは、主に新型コロナウイルス感染症の[5類感染症]への移行に伴い、消費抑制意識の緩和がみられ、消費行動の変化に即対応した品揃え・サービスを提供したことなどによるものです。
- ・売上総利益は、139,831百万円(前期比3,585百万円増)となりました。営業収益対比では29.7%と前期に比べて0.1ポイント上昇しました。
- ・販売費及び一般管理費については、主に人件費及び設備投資に伴う減価償却費が増加したこと等により、前期比8,055百万円(5.2%)増加の163,938百万円となりました。営業収益対比では34.8%となり前期に比べて0.9ポイント上昇しました。
- ・これらの結果、営業利益は前期比2,219百万円(6.6%)減少の31,425百万円となり、営業収益対比は6.7%と前期に比べて0.6ポイント低下しました。

5 経常利益 **323.2億円** [前期比 94.0%]

- ・営業外収益は、前期比36百万円(2.6%)減少の1,352百万円となりました。一方、営業外費用は、支払利息の減少などにより、前期比181百万円(28.5%)減少の455百万円となりました。
- ・これらの結果、経常利益は前期比2,074百万円(6.0%)減少の32,322百万円となりました。営業収益対比は6.9%と前期に比べて0.6ポイント低下しました。

6 親会社株主に帰属する当期純利益 **204.8億円** [前期比 88.3%]

- ・法人税等は8,857百万円となりました(前期比1,986百万円の減少)。非支配株主に帰属する当期純利益は144百万円となりました(前期比87百万円の減少)。
- ・これらの結果、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比2,702百万円(11.7%)減少の20,485百万円となり、営業収益対比は4.3%と前期に比べて0.7ポイント低下しました。

■ 会社概要

(2024年7月31日現在)

設立年月日 1961年10月27日
 本社所在地 広島市東区二葉の里三丁目3番1号
 TEL 082-264-3211(代)
 資本金 19,613,856,196円
 従業員数(連結)* 正社員 4,400名
 パートタイマー 11,048名(1日8時間換算)
 ※2024年2月29日時点の人数です。

店舗数(連結) 197店舗(GMS・SC 62店舗、NSC 5店舗、SM 124店舗*1*2、その他 6店舗)

中国エリア:92店舗
 GMS・SC 36店舗 NSC 2店舗 SM 52店舗*1 その他 2店舗

九州エリア:91店舗
 GMS・SC 20店舗 NSC 3店舗 SM 66店舗*2 その他 2店舗

四国エリア:10店舗
 GMS・SC 4店舗 SM 6店舗

その他のエリア:4店舗
 GMS・SC 2店舗 その他 2店舗

*1 (株)ユアーズの「ゆめタウン廿日市」への出店が含まれます。
 *2 (株)ゆめmart熊本の「ゆめモール合志」への出店が含まれます。

■ 役員一覧

(2024年7月1日現在)

代表取締役社長	山西 泰明
取締役副社長	三家本 達也
取締役副社長	町田 繁樹
取締役	黒本 寛
取締役	山西 大輔
社外取締役	西川 正洋
社外取締役	矢野 泉
社外取締役	青山 直美
常勤監査役	久永 英明
社外監査役	堀川 智子
社外監査役	岡田 弘隆

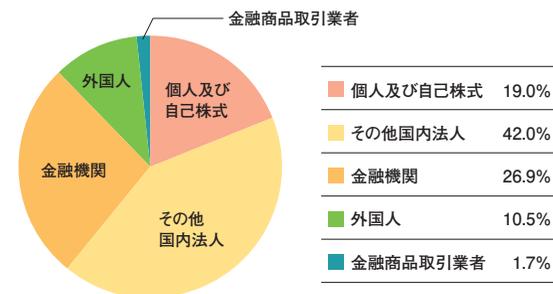
専務執行役員	田原 英樹
常務執行役員	青木 孝幸
上席執行役員	溝口 晋
上席執行役員	阿部 睦夫
上席執行役員	河崎 智広
執行役員	岡本 圭史
執行役員	沼本 真輔
執行役員	山野 正道
執行役員	小林 篤志
執行役員	松重 健
執行役員	柳井 忠利
執行役員	三浦 健司
執行役員	梶原 雄一朗
執行役員	平 公成
執行役員	宮次 太功
執行役員	田部 学
執行役員	大久保 康三
執行役員	廣瀬 伸作
執行役員	寺本 智広

■ 株式の状況

(2024年2月29日現在)

発行可能株式総数 195,243,000株
 発行済株式の総数 71,665,200株
 株主数 13,686名
 1単元の株式数 100株

■ 単元株式の所有状況



■ 大株主の状況

(2024年2月29日現在)

株主名	持株数	持株比率
山西ワールド(株)	19,935千株	27.9%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	5,820千株	8.1%
第一不動産(株)	4,208千株	5.9%
(株)日本カस्टディ銀行(信託口)	3,733千株	5.2%
(株)広島銀行	2,362千株	3.3%
日本生命保険(相)	2,093千株	2.9%
山西 泰明	2,054千株	2.9%
イズミ広島共栄会	1,967千株	2.8%
全国共済農業協同組合連合会	1,743千株	2.4%
第一生命保険(株)	1,624千株	2.3%

(注)持株比率は、自己株式(146,909株)を控除して計算しています。

■ 株価の推移



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会 毎年2月末日 期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日
公告方法	電子公告 (やむを得ない事由のある場合 日本経済新聞)
上場金融商品取引所	東京証券取引所プライム市場
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[郵便物送付先]	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[電話照会先]	☎ 0120-782-031
[WEB照会先]	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

■ 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座のご利用がない株主様は、左記電話照会先までご連絡ください。

■ 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といひます。)を開設しております。
特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

株主優待制度

株主ご優待券またはギフト券(選択制)

毎年2月末日および8月31日現在、当社株式100株以上ご所有の株主の皆様に対して、「株主ご優待券」か「ギフト券」をお選びいただき、ご所有株式数に応じて以下のとおりお贈りいたします。

ご所有株式数	株主ご優待券	ギフト券
100株以上	20枚 (2,000円相当)	500円相当
200株以上	30枚 (3,000円相当)	
300株以上	40枚 (4,000円相当)	
400株以上	50枚 (5,000円相当)	
500株以上	60枚 (6,000円相当)	
1,000株以上	100枚 (10,000円相当)	2,000円相当
2,000株以上	200枚 (20,000円相当)	
3,000株以上	300枚 (30,000円相当)	
4,000株以上	400枚 (40,000円相当)	
5,000株以上	500枚 (50,000円相当)	
6,000株以上	600枚 (60,000円相当)	
8,000株以上	800枚 (80,000円相当)	
10,000株以上	1,000枚(100,000円相当)	

※「株主ご優待券」は、1千円以上のお買上につき、1千円ごとに各1枚(100円割引券)をご使用いただけます。

長期保有特典制度

毎年2月末日時点で、当社株式を2年以上継続して保有され、かつ毎年2月末日時点で300株以上保有の株主様に、現行の優待制度(選択制)に応じて、「自社商品券」または「ギフト券」のいずれかを年1回贈呈いたします。

ご所有株式数	自社商品券※1	ギフト券※2
	現行制度に株主優待券をお選びの株主様	現行制度にギフト券をお選びの株主様
300株以上	2,000円相当	500円相当
1,000株以上	4,000円相当	1,000円相当

※1 「自社商品券」は、ゆめタウン、ゆめマート、ゆめシティ、LECTの各店舗、(株)ユアーズ、(株)デイリーマート、(有)はなわの店舗等でご利用いただけます。専門店によっては一部ご利用できない店舗がございます。

※2 「ギフト券」は全国でご利用いただけるものを贈呈いたします。

泉美術館ご招待券の贈呈

2024年2月29日現在で当社株式を1単元以上ご所有の株主の皆様へ「泉美術館ご招待券」を贈呈させていただきます。

公益財団法人

泉美術館



■ 開館時間

午前11時から午後5時(入館は午後4時30分まで)

■ 休館日

月曜日(祝日・振替休日の場合は開館)

年末年始(12月30日～1月1日)

※展示替えによる臨時休館日

■ 住所

〒733-0833

広島市西区商工センター2丁目3番1号 エクセル5階

TEL (082) 276-2600

■ ホームページ <https://izumi-museum.jp/>